

「家族の時間づくり」プロジェクトアンケート（妙高市）

アンケート調査結果の概要【学級担任票】

「家族の時間づくり」プロジェクト実施概要

○妙高市立新井小学校、新井南小学校、新井中央小学校の取り組み	
プロジェクト 期間	5月2日(月)をお休みにして、4月29日(金祝)から5月5日(木祝)を7連休とした。
内容	・大人と子どもが一緒に休む「家族の時間」づくり ・大人の休暇取得 ・充実した家族の時間を過ごすための取り組み、他

1. 調査の概要

○調査方法

新井小学校、新井南小学校、新井中央小学校を經由して、学級担任に配布・回収

○調査対象

新井小学校、新井南小学校、新井中央小学校の学級担任（46名）

○調査期間

2011年6月10日（金）～6月22日（水）

○有効回答票数（回収率は配布数ベース、配布数：46票）

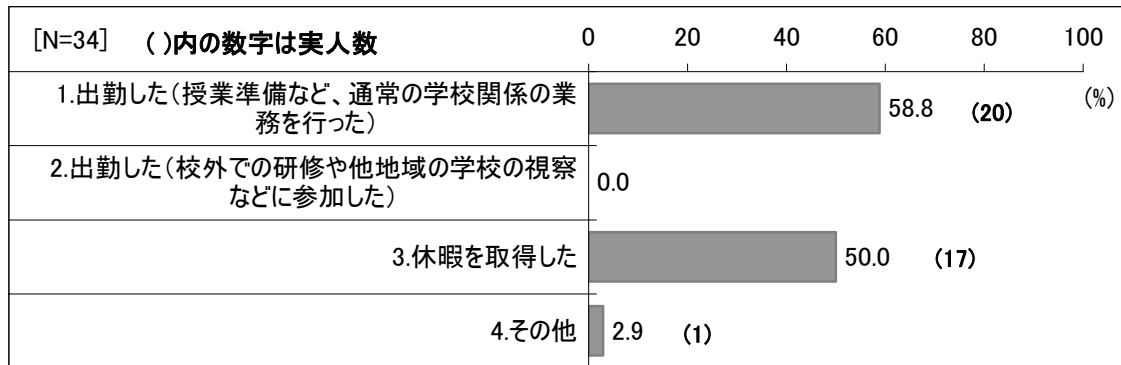
	合計
学級担任票回収数	34票
（回収率）	73.9%

2. 調査結果

問1 あなたは5月2日をどのように過ごされましたか。(あてはまる番号すべてに○印をお付けください)

「出勤した(授業準備など、通常の学校関係の業務を行った)」(58.8%)が一番多く、「休暇を取得した」が50.0%であった。

【図表1】5月2日の過ごし方(回答者数34票)(複数回答)

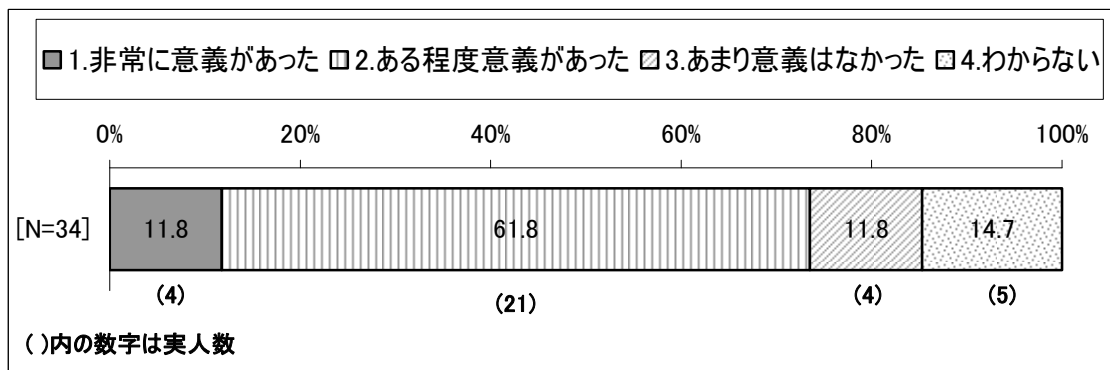


※図表内のNは設問への回答者数である

問2 今回、5月2日をお休みにし、7連休としたことは、子どもたちにとって意義があったと思われますか。

「1.非常に意義があった」(11.8%)と「2.ある程度意義があった」(61.8%)を合わせて、73.6%が「意義があった」との回答であった。一方、「3.あまり意義はなかった」との回答は、11.8%であった。

【図表2】子どもたちへの意義(回答者数34票)(単数回答)



※図表内のNは設問への回答者数である

問3 問2で「1. 非常に意義があった」「2. ある程度意義があった」と答えた方にお聞きします。子どもたちにとってどのような意義があったと思われますか。(あてはまる番号すべてに○印をお付けください)

「2. 子どもと保護者が一緒に出かける時間や機会が増えた(ようだ)」が最も多く(84.0%)、次いで「1. 子どもと保護者が話す時間や機会が増えた(ようだ)」が52.0%、「3. 普段できない体験を一緒にすることができた(ようだ)」が28.0%であった。

【図表3】子どもたちへの意義の内容(回答者数25票)(複数回答)

[N=25] ()内の数字は実人数	0	20	40	60	80	100
1.子どもと保護者が話す時間や機会が増えた(ようだ)				52.0	(13)	(%)
2.子どもと保護者が一緒に出かける時間や機会が増えた(ようだ)					84.0	(21)
3.普段できない体験を一緒にすることができた(ようだ)		28.0	(7)			
4.子どもと保護者の間の“家族のきずな”が深まった(ようだ)		12.0	(3)			
5.子どもの勉強が進んだ(ようだ)	0.0					
6.子どもたちの間の交流が進んだ(ようだ)		16.0	(4)			
7.休みをまとめたことで、子どもたちの集中力が高まった(ようだ)		12.0	(3)			
8.地域の活動や行事に参加できた(ようだ)		20.0	(5)			
9.その他	0.0					

※図表内のNは設問への回答者数である

問5 問2で「3. あまり意義はなかった」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。

「1. 7連休にしても、働いている保護者は休みが取れないから」が100.0%で、次いで「2. 7連休という長期間でなければできない活動はそれほどないから」(25.0%)であった。

【図表4】あまり意義はなかった理由(回答者数4票)(複数回答)

[N=4] ()内の数字は実人数	0	20	40	60	80	100
1.7連休にしても、働いている保護者は休みが取れないから						100.0
2.7連休という長期間でなければできない活動はそれほどないから		25.0	(1)			(4)
3.7連休でも7連休でなくても子どもが行う活動自体に違いはないから	0.0					
4.その他	0.0					

※図表内のNは設問への回答者数である

問6 保護者との時間の増加等を通じて、子どもたちにとってどのような意義があったと思われますか。(あてはまる番号すべてに○印をおつけください)

「1. 自然や歴史、伝統文化について学んだ(ようだ)」が26.5%でもっとも多い。次いで「3. 礼儀やルール、マナーについて学んだ(ようだ)」と「7. その他」が17.6%であった。また、「8. 特にない」は20.6%であった。

【図表5】 家族の時間の増加による子どもたちの意義の内容(回答者数34票)(複数回答)

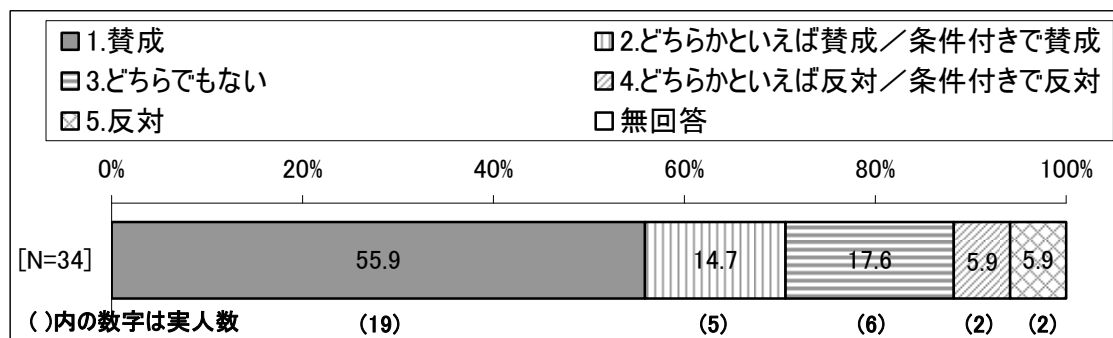
[N=34] ()内の数字は実人数	0	20	40	60	80	100
1.自然や歴史、伝統文化について学んだ(ようだ)		26.5	(9)			(%)
2.他人への思いやりの心や生命の大切さについて学んだ(ようだ)		2.9	(1)			
3.礼儀やルール、マナーについて学んだ(ようだ)		17.6	(6)			
4.生活習慣や地域の安全について学んだ(ようだ)		11.8	(4)			
5.自分の将来や、将来の仕事について学んだ(ようだ)	0.0	-				
6.勉強を見てもらう時間が増えた(ようだ)		14.7	(5)			
7.その他		17.6	(6)			
8.特にない		20.6	(7)			

※図表内のNは設問への回答者数である

問8 今回のように、休日を振り替えることにより、飛び石連休をより長い期間の連続した休日とする運用について、どのようにお考えですか。(1つだけ○印をお付けください)

「1. 賛成」が55.9%で最も多く、「2. どちらかといえば賛成/条件付き賛成」(14.7%)と合わせ、連続した休日とする運用について肯定的な回答は約7割となった。一方、「4. どちらかといえば反対/条件付きで反対」(5.9%)と「5. 反対」(5.9%)を合わせ、連続した休日とすることについて否定的な回答は全体の約1割であった。

【図表6】 連続した休日とする運用について(回答者数34票)(単数回答)



※図表内のNは設問への回答者数である